

岐阜県立高山工業高等学校で防災講座を行いました

令和6年10月17日（木）、岐阜県立高山工業高等学校で1年生103名に防災講座を行いました。

講座では、飛騨地方の水害として、この高山市でも死者・行方不明者3名の被害があった平成16年台風23号や平成26年8月豪雨など過去の水害を学習しました。高山市には、今年で発生から20年を迎える平成16年台風23号の実績浸水深を表した看板が設置されています。

また、VR・映像による浸水の擬似体験や伊勢湾台風のA I 語り部との会話など新技術を使った体験も行いました。

最後に代表の生徒から「VRを通して台風や豪雨の怖さを実感しました。この経験を今に活かしていきたいです。」と御礼の言葉がありました。

今回の講座が、生徒たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。この講座の様子は、ケーブルテレビ Hit net TV! に取材頂きました。



平成16年台風23号
実績浸水深を示す看板